大学と連携した小中学生の防災力向上を目指した防災教育の実施
～令和7年度『キッズ向けさいがいMAP』を活用した防災教育を実施～

国土交通省
岩手河川国道事務所

【機密性２】

開催趣旨

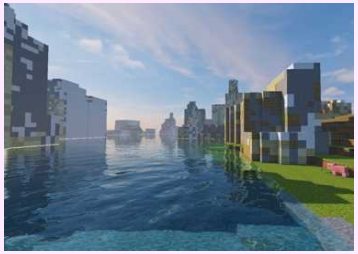
- 岩手河川国道事務所と東北工業大学が連携し、令和5、6年度に引き続き今年度も『キッズ向けさいがいMAP』を活用した防災教育を実施。
- 『キッズ向けさいがいMAP』は、「“マインクラフト”」、「3D都市データ（PLATEAU）」、「浸水想定区域図」等を組み合わせ、自分の住んでいる街が浸水している状態を仮想空間上に再現したもので、その空間をPC上で自由に散策することにより、ハザードマップとの比較も行いながら住んでいる街の浸水危険度を三次元的に理解し、洪水に対する理解の促進や防災意識の向上を目指すもの。
- “東北工業大学工学部都市工学課程　小野桂介講師”が、盛岡市内と北上市内の小中学校（計6校）にて実施。今年度から初めて実施した北上市内の小中学校においては、「3D都市データ（PLATEAU）」の代わりに「河川LPデータ」を活用して浸水した街並みを再現し、防災教育を実施した。

“マインクラフト”を活用した防災教育の流れ

1. 授業の目標
　北上川流域の自分の住んでいる街で、史上最大級の大雨が観測された場合、どのくらい浸水するか学ぶ。
2. 街を空中散歩しよう。浸水危険度を学ぶ。
3. ブロックで街を守ろう！洪水対策を学ぶ。【中学生のみ】
4. グループワーク【中学生のみ】
5. アンケート、まとめ

【キッズ向けさいがいMAPの画面例】

※3D都市データ（PLATEAU）を活用しているため、街をリアルに再現
※ゲームの世界では、1ブロックの大きさが1m×1mのため、浸水深さも確認できる



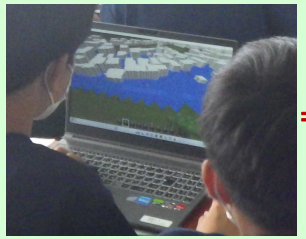
マインクラフトに浸水した街を再現



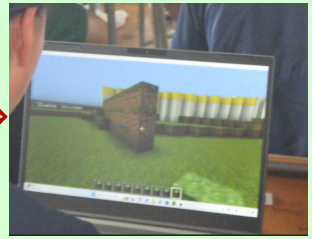
仮想空間を自由に散策

NOT OFFICIAL MINECRAFT CONTENT.
NOT APPROVED BY OR ASSOCIATED WITH MOJANG.

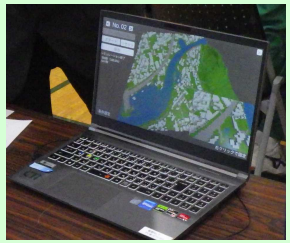
防災教育の流れ



①浸水した自分の住む街を散策し、浸水深を確認



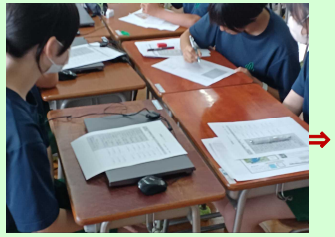
②街を守る為、堤防ブロックを配置



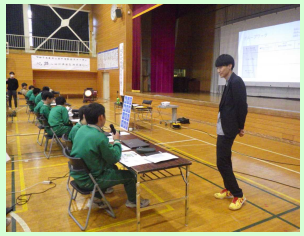
③シミュレーションでどのように溢れるか確認



④堤防による対策の効果をコスト面も含め比較



⑤望ましい洪水対策について、グループ議論



⑥グループ毎に考えた洪水対策を発表

実施の様子



R7.10.2（木）　北上市立二子小



R7.11.14（金）北上市立北上北中

報道関係

●テレビ放送
R7.8.27（水）「mit Live News」【フジテレビ系列】
R7.8.27（水）「スーパーJチャンネル岩手」【テレビ朝日系列】
R7.11.7（金）「5きげんテレビ」「ニュースプラス1いわて」【日本テレビ系列】

●新聞報道
R7.10.3（金）岩手日日新聞　朝刊　第9面
R7.10.4（土）岩手日報　朝刊　第15面

令和７年度の実施実績

R7.8.27(水)	盛岡市立河南中2年生	
R7.8.28(木)	〃	計 139名
R7.10.2(木)	北上市立二子小5、6年生	計 68名
R7.10.2(木)	北上市立更木小5、6年生	計 12名
R7.11.7(金)	盛岡市立中野小6年生	計 87名
R7.11.7(金)	盛岡市立大慈寺小5年生	計 20名
R7.11.14(金)	北上市立北上北中2年生	計 42名